

第 2 問 (20 点)

2016 年以降、当社は資金運用戦略の一環として、有価証券の運用を開始している。以下の【資料】は当期末に保有している有価証券の一覧であるが、これをもとに下記の【設問】に答えなさい。なお、利息は月割計算により、その他有価証券の評価差額については、税効果会計（法定実効税率 30%）を適用する。当期の会計期間は 2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日までの 1 年間である。

【設問】

- 問 1** 下記の【資料】より、当期首に行うべき有価証券にかかる再振替仕訳（洗替処理を含む）を示しなさい。勘定科目は下記の【使用する勘定科目】から選択すること。
- 問 2** 子会社株式勘定の次期繰越額を答えなさい。
- 問 3** 当期の有価証券利息の勘定記入面を示しなさい。勘定科目は下記の【使用する勘定科目】から選択すること。なお、決算整理仕訳の有価証券利息勘定への転記は、有価証券の取得日順に行うこと。
- 問 4** 当期の貸借対照表に表示される有価証券の金額を答えなさい。

【資料 1】 当期末に保有している有価証券

| 銘 柄 | 取得日 | 保有目的 | 備 考 |
|-----------|-----------------|--------|---|
| 広島物産(株)社債 | 2016 年 10 月 1 日 | 満期保有目的 | 額面金額 ¥4,000,000、取得価額 ¥3,940,000 [※] 、利率年 2%、利払日年 1 回（9 月末）、償還日 2019 年 9 月 30 日。 |
| 兵庫商事(株)株式 | 2017 年 8 月 5 日 | 支配目的 | 取得価額 ¥6,000,000 |
| 岡山工業(株)株式 | 2017 年 12 月 3 日 | その他 | 取得価額 ¥2,875,000 |
| 大阪出版(株)社債 | 2018 年 6 月 1 日 | その他 | 額面金額 ¥7,000,000、取得価額 ¥6,928,720 [※] 、利率年 3%、利払日年 2 回（5 月末、11 月末）、償還日 2023 年 11 月 30 日。 |
| 京都商事(株)社債 | 2019 年 3 月 1 日 | 売買目的 | 額面 ¥1,000,000、取得価額 ¥950,000、利率年 2.4%、利払日年 2 回（2 月末、8 月末）、償還日 2021 年 8 月 31 日。 |

※ 額面金額と取得価額との差額は、金利の調整と認められるため償却原価法（定額法）を適用する。

【資料 2】 有価証券の時価情報

| 銘 柄 | 2017 年 3 月末 | 2018 年 3 月末 | 2019 年 3 月末 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|
| 広島物産(株)社債 | ¥3,970,000 | ¥4,070,000 | ¥4,077,000 |
| 兵庫商事(株)株式 | ¥6,150,000 | ¥6,200,000 | ¥6,080,000 |
| 岡山工業(株)株式 | ¥2,895,200 | ¥2,910,400 | ¥2,710,800 |
| 大阪出版(株)社債 | ¥7,012,000 | ¥7,046,000 | ¥7,058,000 |
| 京都商事(株)社債 | ¥1,004,000 | ¥ 976,500 | ¥ 995,820 |

【使用する勘定科目】

| | | | | |
|-------------|-------------|---|---------------|---------------|
| 売買目的有価証券 | 損 | 益 | 未 収 利 息 | その他有価証券評価差額金 |
| 満期保有目的債券 | 繰 延 税 金 負 債 | | その他有価証券 | 有 価 証 券 利 息 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 子 会 社 株 式 | | 有 価 証 券 評 価 損 | 有 価 証 券 評 価 益 |
| 現 金 | | | | |

第 3 問 (20 点)

親会社 P 社と子会社 S 社に関する以下の [資料] から、答案用紙の X4 年度 (X4 年 4 月 1 日から X5 年 3 月 31 日) の連結財務諸表を完成しなさい。ただし、税金については考慮する必要はない。

[資料]

1. P 社は X3 年 3 月 31 日に S 社の発行済株式総数の 75% を 364,500 千円で取得して支配を獲得し、その後 S 社を連結子会社として連結財務諸表を作成している。X3 年 3 月 31 日時点の S 社の個別財務諸表は以下のとおりである。なお、のれんの償却は、支配獲得日の翌年から 5 年で均等償却する。

貸借対照表

| X3 年 3 月 31 日現在 | | (単位：千円) | |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| 諸 資 産 | 1,200,000 | 諸 負 債 | 810,000 |
| | | 資 本 金 | 250,000 |
| | | 資 本 剰 余 金 | 100,000 |
| | | 利 益 剰 余 金 | 40,000 |
| | 1,200,000 | | 1,200,000 |

2. S 社は X4 年 4 月 1 日から X5 年 3 月 31 日までに P 社に配当を 22,500 千円行っている。なお、前期において配当は行われていない。当期に P 社は配当を行っていない。
3. S 社は P 社に対して前期より仕入金額に 20% の利益を付加して商品を販売している。当期の S 社から P 社に対する売上高は 865,000 千円である。なお、当期末に P 社の期末棚卸資産に含まれる S 社仕入分は 108,000 千円であり、前期末に P 社の期末棚卸資産に含まれる S 社仕入分は 126,000 千円である。
4. S 社は期末の売掛金残高に対して 2% の貸倒引当金を設定している。当期末の売掛金残高のうち 12,000 千円は P 社に対するものである。なお、期首に P 社に対する売掛金残高はないものとする。
5. P 社および S 社の当期の財務諸表は、次のとおりである。

損益計算書

| 自 X4 年 4 月 1 日 至 X5 年 3 月 31 日 | | | | | | (単位：千円) | |
|--------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|--|
| 科 目 | P 社 | S 社 | 科 目 | P 社 | S 社 | | |
| 売 上 原 価 | 2,904,000 | 1,332,400 | 売 上 高 | 4,843,000 | 2,050,000 | | |
| 販売費及び一般管理費 | 1,787,600 | 653,100 | 営 業 外 収 益 | 121,000 | 52,000 | | |
| 営 業 外 費 用 | 87,400 | 46,000 | 特 別 利 益 | 21,000 | 4,500 | | |
| 当 期 純 利 益 | 206,000 | 75,000 | | | | | |
| | 4,985,000 | 2,106,500 | | 4,985,000 | 2,106,500 | | |

貸借対照表

| X5 年 3 月 31 日現在 | | | | | | (単位：千円) | |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|--|
| 科 目 | P 社 | S 社 | 科 目 | P 社 | S 社 | | |
| 諸 資 産 | 3,347,300 | 1,229,120 | 諸 負 債 | 2,475,800 | 678,000 | | |
| 売 掛 金 | 356,800 | 256,000 | 買 掛 金 | 489,200 | 382,000 | | |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 3,600 | △ 5,120 | 資 本 金 | 950,000 | 250,000 | | |
| 商 品 | 258,000 | 120,000 | 資 本 剰 余 金 | 143,000 | 100,000 | | |
| 子 会 社 株 式 | 364,500 | — | 利 益 剰 余 金 | 265,000 | 190,000 | | |
| | 4,323,000 | 1,600,000 | | 4,323,000 | 1,600,000 | | |